

創薬人育成スクール2018

平成30年 **11月8日（木）**

徳島大学蔵本キャンパス **長井記念ホール**

対 象：学部生、大学院生 参加費：無料

14:00 - 15:00

塩崎 真（JT）

「“ドラッグライクネス”を意識した合成展開とは」

創薬研究では、薬効強度、安全性、服薬簡便性向上につながるエッセンスをいかに化学構造に取り込むかが重要である。

“ドラッグライクネス”は、分子の構造から読み取れる“医薬品らしさ”を表し、化合物の最適化のみならず、リードセレクションの場面等でも用いられてきた。本講演では、ドラッグライクネスを意識した合成展開とは何か、ということについて、JTにおける最新の事例を使って紹介する。

15:10 - 16:10

西村 祥和（中外製薬株式会社）

「経口投与可能な新規低分子PTH_{R1}アゴニストPCO371の創製」

副甲状腺ホルモン(PTH)は、PTH受容体1(PTH_{R1})を介して生体のカルシウム維持に重要な役割を演じており、ペプチドアゴニストであるPTH(1-34)やPTH(1-84)が骨粗鬆症や副甲状腺機能低下症の治療薬として使用されている。QOL向上を目的として経口投与可能なPTH_{R1}アゴニストの創薬研究に着手し、世界初の新規低分子化合物PCO371の創製に成功した。

Hit化合物の取得から臨床開発中であるPCO371への創薬研究を紹介する。

16:20より先生方と意見交換会を行いますので、是非ご参加ください。

問合せ先

徳島大学大学院医歯薬学研究部
機能分子合成薬学分野
大高 章
aotaka@tokushima-u.ac.jp

本講演会は、
「創製薬学1」
「医薬品創製資源学特論」
「創薬研究実践特論」
の一環として行います。
※意見交換会は自由参加。

共催 多機能性人工エキソソーム (iTEX) 医薬品化実践を通じた操薬人育成事業
徳島大学研究クラスター「統合的がん創薬研究クラスター」